

会 告

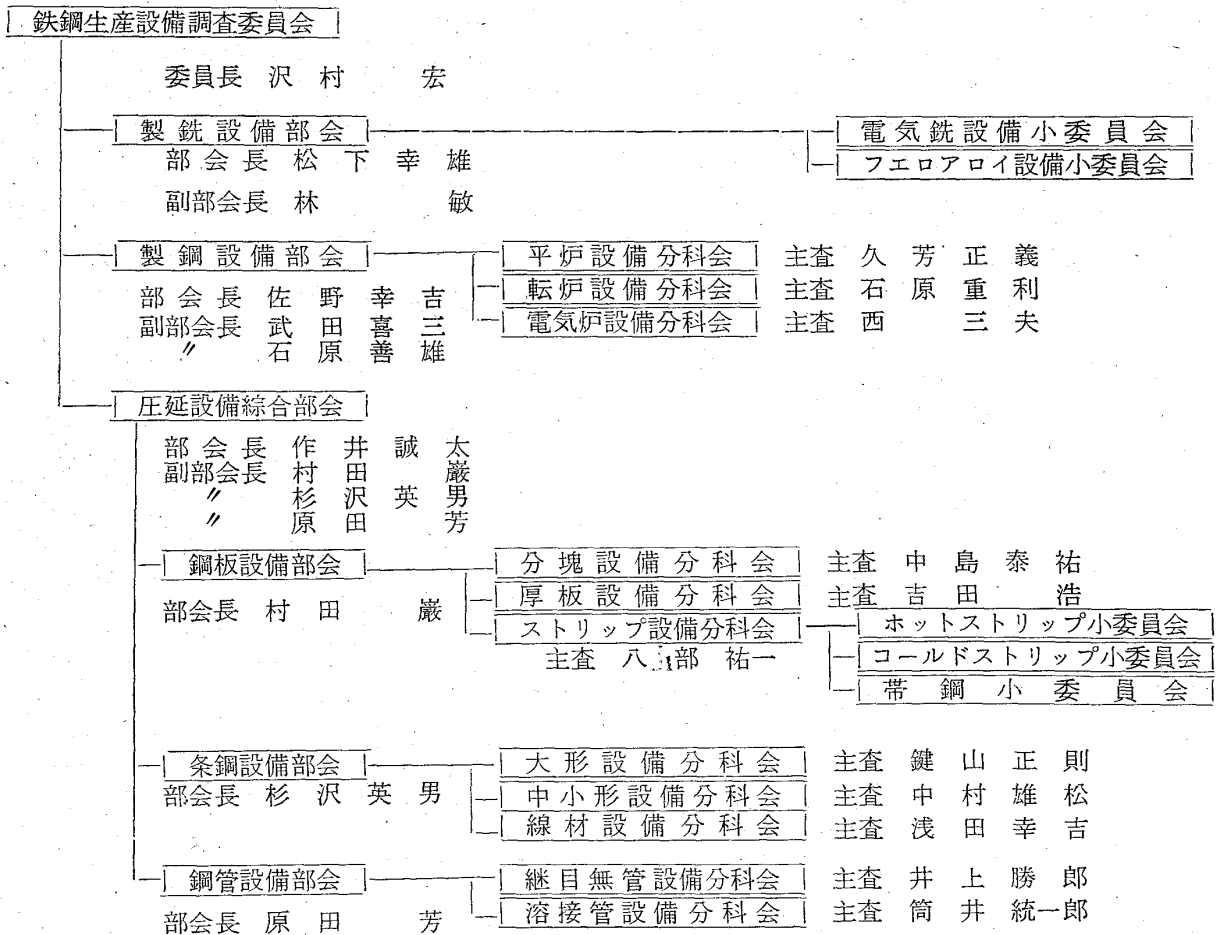
鉄鋼生産設備能力の調査について

本会では、昨年7月通商産業省から鉄鋼生産設備能力の算定基準を作成するよう依頼を受けましたので、鉄鋼生産設備能力調査委員会を設け調査検討を進めております。

通商産業省では、設備調整、市況対策等行政の基礎資料とするため4年に1回鉄鋼生産設備の調査を行なっており、本年12月末が次回の調査時期に当たります。従来の調査では、製鉄、製鋼設備については、鉄鋼技術共同研究会が通商産業省の依頼により作成した算定方式が採用されていましたが、最近における製鉄、製鋼各技術の急速な進歩に鑑み従来の方式を再検討する必要がある、また圧延設備については従来年間稼働時間を6000時間とすることのみが定められ、トン/時の算定基準は定められていなかった状態で、各設備能力の算定基準の改訂または新規作成が要請されたわけがあります。

これに対して鉄鋼生産設備能力調査委員会の中に製鉄設備、製鋼設備、および圧延設備総合（これを更に鋼板設備、条鋼設備、鋼管設備の各部会に分ける）の各部会をおき、更に必要に応じ部会を分科会、小委員会に分けて（委員会組織図参照）各設備毎の調査を行なっております。昨年中に本委員会を2回、各部会、分科会をそれぞれ数回開催しており、来る3月末までには各設備の能力算定基準が完成される予定であります。

なお一応の能力算定基準ができました後も調査委員会は存続させ、更に検討を進めることとなっております。



## 「鉄鋼二次製品生産設備の現況」発行について

本会は、通商産業省の要請により鉄鋼二次製品の生産設備の実態調査を実施していましたが、昨年春調査を完了し昨年10月標記書名の報告書を刊行しました。

鉄鋼二次製品の生産設備の実態調査は、鉄鋼業界はもちろん鉄鋼を主要原料とする各種関連産業界においても要望されており、昭和24年12月、29年3月、33年12月の3回通商産業大臣官房調査統計部および通商産業省重工業局で調査を実施され、その結果は公表されております。最後の調査から4年を経過し、その間におけるわが国鉄鋼業および関連産業の発展に伴ない、鉄鋼二次製品業界の設備の新增設、合理化の進展が著しいため、昭和37年12月末現在の調査を実施するよう通商産業省より本会に対し要請されたものであります。

調査は通商産業省重工業局、大臣官房調査統計部および各地方通産局担当課のご指導、関係各鉄鋼二次製品団体のご協力をうけ、調査推進機関として本会内に機械素材工業生産設備調査委員会を設けて実施されました。調査範囲が鉄鋼二次製品の全業種で、しかも極めて広範囲に亘るため調査委員会の下に各業種別の22部会をおき、調査票の作成、配布、回収、整理の作業が行なわれました。

機械の素材として使用される鉄線・針金・硬鋼線・亜鉛めつき鋼線・金鋼・電気溶接棒・鋼索・みがき帯鋼・高圧容器および鋸釘については社団法人日本機械工業連合会より機械工業振興資金の交付を受け、機械工業基礎調査の一環として本調査を実施しましたが、その他の鉄鋼二次製品である有刺鉄線・くぎ・亜鉛鉄板・ドラム缶・18リットル缶・金属缶(食缶)・一般缶・ショベル・スコップ・ツルハシ・ハンマー・冷間ロール成型形鋼・鑄鉄管についてもこの機会に機械素材工業基礎調査と並行して調査を実施しました。この報告書はB5判533ページ鉄鋼二次製品の全部門を1冊にまとめたもので、調査範囲は全国各工場の設備能力、仕様、基数等を調査したもので、内容は極めて広範囲詳細で調査票の回収率も従来の調査よりも遙かに高く信頼のおける結果が掲載されております。

関係者に配布しました残部は会員ならびに一般の方にもお分けしますから、ご希望の方は本会事務局までおよび送料をそえお申込下さい。

### 代金および送料

定 価	1部 1200円			
送 料	(小包送りとなりますので次表をご参照下さい。単位円)			
	都内 (23区)	第1地帯	第2地帯	第3地帯
1部 (2kg以内)	50	90	120	170
2・3部 (4kg以内)	70	120	160	230
4・5部 (6kg以内)	90	150	200	290

## 九州支部渡辺(義介)記念講演会開催について

本会九州支部は、渡辺(義介)記念講演会を下記により開催いたしますので、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

### 記

日 時 昭和39年3月7日(土) 10°00'~12°00'  
場 所 八幡製鉄所技術研究所講演室  
プログラム

1. 映画「現代をつくる」約40分 八幡メタルフォーム(株)提供
2. 講演および講師  
「鉄鉱石選鉱技術の最近の進歩」

八幡製鉄(株)八幡製鉄所嘱託 工博 松 塚 清 人  
前熊本大学工学部 教授

## 関西支部鉄鋼 JIS 分析法解説講習会について

本会関西支部では標記講習会を金属学会関西支部，日本分析化学会近畿支部共催，日本規格協会関西支部後援のもとに下記により開催いたしますので，多数会員ご参加下さるようご案内いたします。

**場 所** 大阪府立工業奨励館（大阪市西区江ノ子島：市電または市バス川口下車）

**日 時** 昭和39年3月16日，17日午前9時30分より

**講習題目**

3月16日（月）

9・30 鉄鋼 JIS 分析法通則 鉄鋼化学分析法（その一）（C, Si）

（株）神戸製鋼所中央研究所 石橋 稔氏

12・30 鉄鋼化学分析法（その二）（Mn, P, S, Ni, Cr）

川崎製鉄（株）技術研究所 蔭山 良一氏

15・00 鉄鋼化学分析法（その三）（Mo, Cu, W, V, Co, Ti, Al）

久保田鉄工（株）鑄型ロール研究部 富永 敏郎氏

3月17日（火）

9・30 鉄鋼化学分析法（その四）（As, Sn, B, N, Pb, Mg, Nb-Ta, Zr）

住友金属工業（株）和歌山製鉄所 荒川 三千夫氏

12・30 鉄鋼発光分光分析法

住友金属工業（株）鋼管製造所 小野 益男氏

**聴講料** 会員 1500円，非会員 2000円（申込と同時に払込み下さい）

**テキスト** 次の JIS 規格票を用います。ご持参下さい。なお，当日会場でも発売します。

JISG 1201, JISG 1211~1232, G 1202, G 1251, G 1252

**定 員** 100 名

**申込締切** 昭和39年3月10日

下記申込書（様式見本）によつて締切日までにお申込み下さい。

**申 込 先** 大阪市西区靱一丁目 大阪科学技術センター

日本分析化学会近畿支部（443-0478）

### 申 込 書

（様式見本）

氏 名	所属学協会		
勤 務 先			
通 信 連 絡 先			
送 金 額	テキスト	有	無

## 材料の強度と疲労に関する総合シンポジウム (第9回)

(日本鉄鋼協会, 日本学術振興会, 日本機械学会 共催)  
(日本金属学会, 日本材料学会,  
材料の微視及巨視力学的挙動の統一研究会 協力)

(趣旨) 材料の降伏, 破壊, 疲労およびクリープなど強度上の諸問題は, 物理学, 化学, 応用数学, 金属学, 材料学, 応用力学など諸分野に関連しておりますので, 上記関連諸学会共催の下にこれまで毎年春, 表記シンポジウムを開催して来ましたが毎回極めて盛会であります. 今回は下記のように微視と巨視の結びつきに重点をおき, 最近の研究発表, 総説, 展望的解説, 問題点の提起, 活発な討論等を行いたいと思ひます.

日 時 昭和 39 年 4 月 3 日 (金) 9:30~17:00

会 場 東京大学工学部 2 号館 大講義室

### プ ロ グ ラ ム

時刻	題 目	講 師
	開 会 の 辞 座長 鷗戸口 英 善	日本機械学会会長
9:30~10:10	(1) 材料の高温力学 (巨視的様相)	京都大学教授(工学部) 工博 平 修二
10:15~10:55	(2) 金属の加工硬化とクリープの原子論的様相 座長 辛 島 誠 一	東京大学教授(理学部) 理博 鈴木秀次
11:00~11:40	(3) 塑性の連続体力学と転位論との結びつきについて	東京大学教授(工学部) 工博 近藤一夫
11:45~12:25	(4) 金属の高温疲労の顕微鏡映写装置による連続観察	東北大学教授(金研) 理博 竹内 栄 東北大学助教授(金研) 工博 本間恒夫
	昼 食	
	座長 五 弓 勇 雄	
13:20~14:00	(5) 金属の塑性変形の透過電子顕微鏡的研究	東北大学教授(金 研) 工博 幸田成康
14:05~14:55	(6) 金属の機械的破壊の原子論的様相	大阪大学教授(基礎工学部) 理博 藤田英一
15:00~15:55	(7) 降伏の問題点と統一的解釈について 一主として鉄鋼の降伏を例にとつて一	東北大学教授(工学部) 理博 横堀武夫
	座長 作 井 誠 太	
16:00~17:00	(8) Short Note および全般についてのパネルディスカッション (i) 粘弾性体の変形と破壊 (20分) (ii) 高温顕微鏡によるクリープおよび クリープ破壊の観察 (20分) (iii) そ の 他	慶応大学教授(工学部) 工博 国尾 武 東北大学教授 理博 横堀武夫 東北大学大学院 高野正義
	閉 会 の 辞	

資料 前刷 (タイプ騰写印刷約 100 ページ(オフセット写真を含む) 1 部送料共 300円) がありますから希望者は代金を添えて 3 月 20 日迄に 仙台市南町通 69 若生ビル内 日本金属学会宛 お申し込み下さい。(以後は当日会場売り).